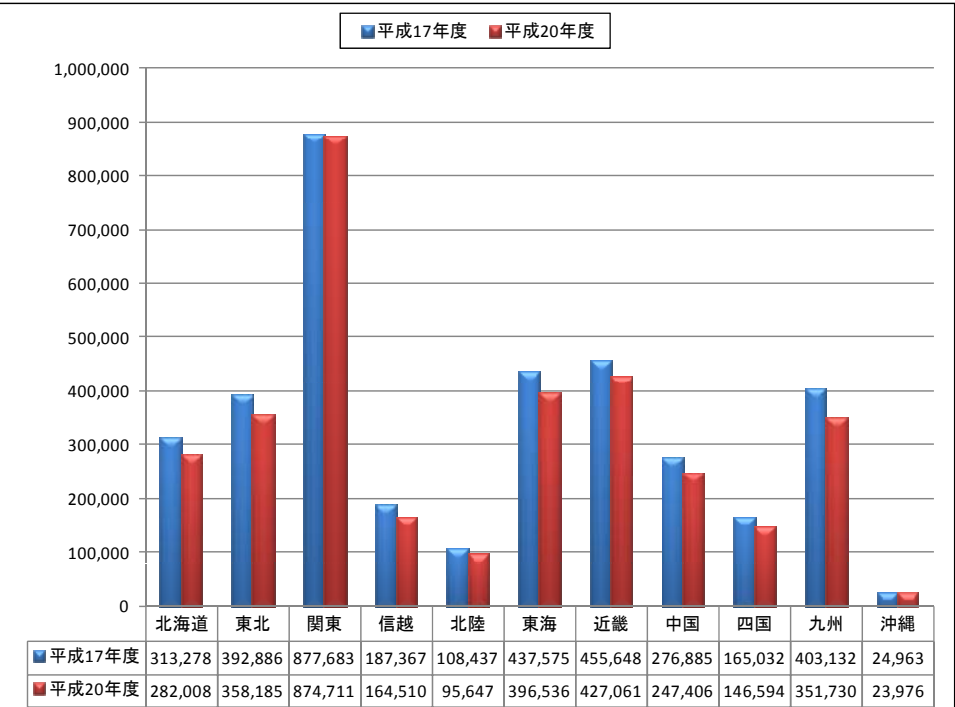


# 平成20年度 電波の利用状況調査の調査結果

## 調査対象周波数帯 770MHz以下の周波数（全体）

### 総合通信局管内別の無線局数の推移

- 770MHz以下の全無線局数を平成17年度（前回調査）と比較した場合
- 各総合通信局ともに無線局数は減少傾向である。
  - 関東、沖縄ではほぼ横ばい状況であるが、北海道を含む他の局は約10%の減少率となっている。
  - この減少傾向については、北海道を含め各総合通信局ともにアマチュア局の減少が要因となっている。



### 管内の周波数区分別の無線局数と電波の利用状況

- 770MHz以下の周波数帯は、多種多様な無線システムに利用されるとともに、周波数区分によって使用条件が異なっており、一概に周波数区分ごとの利用状況を比較することは難しいが、各周波数区分とも全体としては適切に利用されていると評価できる。
- 調査対象周波数帯の平成17年度と平成20年度の無線局数を比較すると、アマチュア局は各周波数帯ともに減少しているが、アマチュア局を除く局種ではほぼ横ばいの状況。
  - 地上テレビ放送のデジタル化が進展中。（平成17年度と平成20年度の無線局数の比較：0局から99局に増加。）

